



STREET DOWN MUFFLER *Basic* 取扱説明書

商品番号 : 04 - 02 - 248 (クロームメッキ)
: 04 - 02 - 2304 (ステンレス)
適応車種 : モンキー・ゴリラ
フレーム番号 : Z50J - 1300017 ~
: AB27 - 1000001 ~ 1809999

この度は、タケガワ製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
このマフラーは、長年に渡るモンキー・ゴリラの商品開発で得たノウハウを駆使し設計、製造しております。あらゆるユースに対応し、扱い易い特性に設計しております。又、サイレンサーパイプには、耐食性に優れているアルマイト処理を施しました。
ご使用の際は、この取扱説明書をよくお読みになってご理解の上ご使用して頂きます様お願い致します。STDマフラーとは、異ったサウンドをお楽しみ下さい。

イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

正しく安全にご使用頂くために

取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても、当製品以外の部品の保証はどのような事柄でも一切負いかねます。
商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
指定部品以外との組み合わせはご遠慮下さい

⚠ 注意 この表示を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
このマフラーは、進行方向に向かって右側から立ち上がっています。エンジン回転中は容易に足などをマフラー方向に近づけない様心掛けて下さい。(火傷の原因となります。)
作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
製品及びフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行ってください。(マフラーのヒビ割れの原因となります。)
車両を駐停車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。(歩道等に歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者等がマフラーに接触し火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)
走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)
キックスターアームが踏みにくくなります。足などがマフラーに当たらない様、注意してキックスターアームを踏み抜いて下さい。
(マフラーの損傷、ケガの原因となります。)
JMC Aカードに明記している規定値は、エンジンがノーマルの状態での規定値です。エンジンパーツを交換及び改造している車両は、JMC A認定外になります。又、マフラーを分解、加工、改造した場合もJMC A認定外になります。

⚠ 警告 この表示を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
エンジン回転中は、マフラー出口を絶対のぞかないで下さい。(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)
走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
走行前に、必ずバンク角のチェックを行い、そのバンク角以上にバンクさせない様な、走行を心掛けて下さい。
(転倒につながる恐れがあります。)
エンジン回転中や、エンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温になっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対置かないで下さい。(火災につながる恐れがあります。)
製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)
このマフラーは、ダウンマフラーですのでSTDマフラーに比べ最低地上高が低くなります。走行中は、路面の凸凹に注意して走行して下さい。
(マフラーの破損、転倒につながる恐れがあります。)



番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	エキゾーストマフラーCOMP	1	_____	1
2	クランプバンド	1	9 1 1 4 0 1 8 1 T 0 1	1
3	ハンガーブラケット	1	0 4 0 0 0 0 9	1
4	ピボットナット	1	0 0 0 4 0 0 0 4	1
5	フランジ六角ボルト M8×16	1	0 0 0 0 0 0 3 9	4
6	フランジ六角ボルト M8×20	1	0 0 0 0 0 2 1 1	4
7	フランジナット M8	1	0 0 0 0 0 2 7 5	6
	J M C Aカード	1	_____	1

リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されますので、ご了承下さい。

補修パーツについては、お買い上げ販売店、もしくは、お電話にて当社にお問い合わせ下さい。

他社製パーツとのマッチングの問い合わせは、ご遠慮下さい。

この説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後一ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。正しい取り付けや、使用方法など守られてない場合は、この限りではありません。

注 意

当社製バックステップKIT旧バックステップストリートポジション(09-10-241/09-10-261)及びリヤディスクタイプ(09-10-2432)、リヤディスクKIT(06-08-1752)はマフラーに干渉する為取り付け出来ません。バックステップを使用する場合は、06-13-0004のバックステップをご利用下さい。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721 25 1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

取 り 付 け 要 領

STD部品取り外し

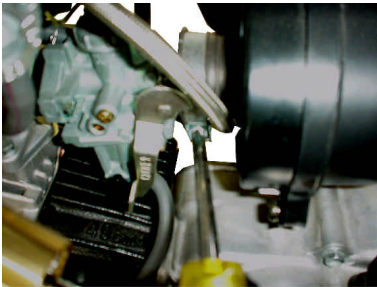
1 .



△注意：必ず冷間時に行うこと。

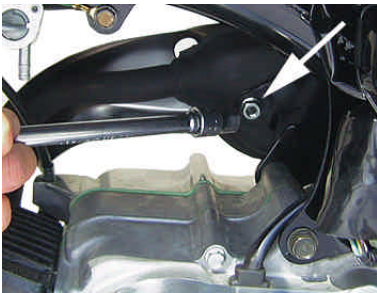
エアクリーナーステー部のボルトを取り外す。

2 .



キャブレターとエアークリーナーとをクランプしているバンドを緩め、エアークリーナーを取り外す。

3 .



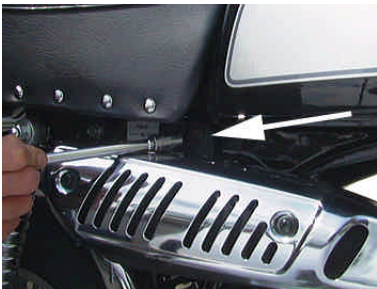
マフラー本体裏側に止まっているナットを取り外す。

4 .



EXパイプ部のナット2個を取り外す。

5 .



マフラー本体を止めている六角ボルトを取り外す。

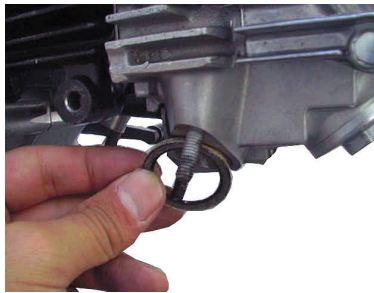
6 .



フランジのカラー2個を取り外し、外側に引く様にしてマフラーを車体から取り外す。

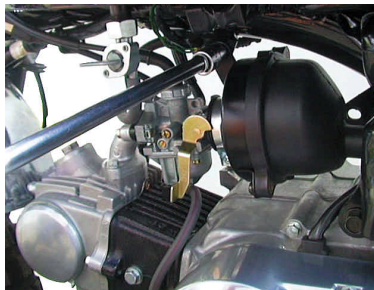


7 .



EXポート部に入っている古いエキゾーストガスケットを外す。

8 .



取り外したエアークリーナーを、取り外しと逆手順で取り付け。

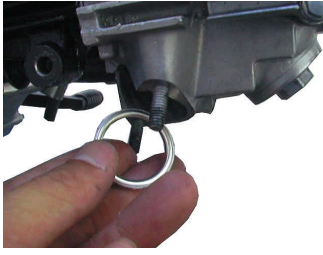
12V車は、アース線の取り付けを忘れないこと。

△注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 8 \sim 10 \text{ N} \cdot \text{m} (0.8 \sim 1.0 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

マフラー取り付け

1.



新品のエキゾーストパイプガスケットをエキゾースト部にさし込み取り付ける。
純正品番 18291-001-010(ホンダ)

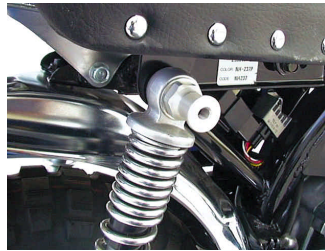
2.



メンテナンススタンド等で車両を安定させます。

⚠警告：水平な場所で車両を安定させること。

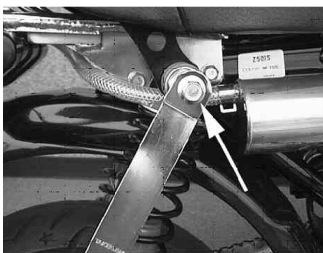
3.



右側リヤショック上部のナットを取り外し、K I T内のピボットナットを取り付け、規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。
 $T = 3.5 \text{ N}\cdot\text{m} (3.5 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

4.



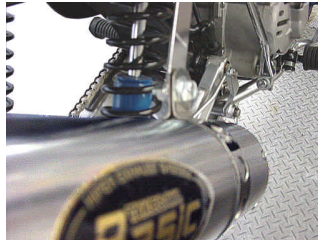
ハンガーブラケットをピボットナットに、フランジボルトM8×16を用いて仮締めします。

5.



マフラーCOMPをシリンダーヘッドエキゾースト側に差し込みSTDナットを用いて仮締めします。

6.



マフラーCOMPのサイレンサー部にクランプバンドを差し込み、ハンガーブラケットにフランジボルトM8×20及びフランジナットを用いて取り付け、仮締めします。

7.



シリンダーヘッドエキゾースト部のSTDナットを均等に規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 1.0 \sim 1.2 \text{ N}\cdot\text{m} (1.0 \sim 1.2 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

8.

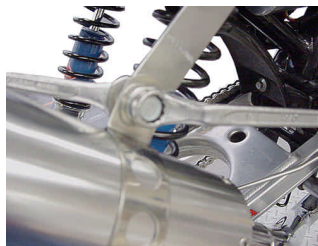


ピボットナット部のフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 2.7 \text{ N}\cdot\text{m} (2.7 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

9.



クランプバンド部のフランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守ること。

$T = 2.7 \text{ N}\cdot\text{m} (2.7 \text{ kgf}\cdot\text{m})$

10. キックスターアームを踏みおろし、干渉が無いが確認します。

11. マフラーに付着した汚れをよく拭きとります。

12. マフラーCOMPのサイレンサー部のネームプレート及びJMC Aプレートの保護フィルムをはがします。



13. エンジンを始動させ、排気漏れの有無を確認します。
△警告：必ず換気の良い場所で行うこと。

14. 各部をもう一度規定トルクで増し締めます。
△注意：必ず規定トルクを守ること。
△注意：必ず冷間時に行うこと。